

させて頂きました。ご紹介させて頂いた光シート顕微鏡はシート状の励起光を用いることで共焦点と比べて走査が速く、光毒性が少ないという利点を持っています。そのため、長時間観察が必須である発生学の分野で主として用いられてきました。しかし、他分野では光シート顕微鏡の存在を知らない、あるいは知っているが詳細は分からない方が多くいらっしゃると思います。最近になってメーカーから市販され始めたので周知されつつありますが、費用が高いため広く使用されるにはまだ至っておりません。今回の発表で光シート顕微鏡がどのようなもので、何を観察できるか皆



様の頭の片隅に置いて頂けたら幸甚です。

鑑賞会では有名なミカツキモからアストレフォメネやラビリンチュラといった普段お目にかかれない生物まで興味深い映像が上映され、非常に心惹かれるものでした。学生の頃は兵庫県立大学で原生生物の研究を行っていたので懐かしい気持ちで皆様のお話を聞くことが出来ました。これからもこの会が発展していくことを期待しております。

末筆ながら、ご親切に対応して頂いた土金勇樹様、早川昌志様、加藤将様に深く感謝申し上げます。



2016 年度藻類談話会のお知らせ

「藻類談話会」は藻類を研究材料とする幅広い分野の研究者の集まりで、西日本を中心に講演会や研究交流を行っています。これまでの談話会の講演内容は、藻類談話会ホームページ (<http://www.research.kobe-u.ac.jp/rcis-kurcis/danwakai/index.html>) でご覧いただけます。今年度は以下の研究報告と講演を企画しています。ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時: 2016年11月19日(土) 13:00-17:00

場所: 奈良女子大学理学部 G 棟 2 階 G201 教室(奈良市北魚屋西町)

研究報告(敬称略)

小川拓, 神谷充伸(福井県大・海洋生物資源): 無性型スジアオノリ (*Ulva prolifera*) における生態分布と生存戦略
 廣兼優¹, 宮本彩加¹, 中野理枝², 平野弥生³, 北浦純¹, 遊佐陽一¹ (¹ 奈女大・人間文化, ² 黒潮生物研究所, ³ 千葉中央博・海博): 囊舌類ウミウシにおける食藻利用と盗葉緑体能の進化

講演(敬称略)

佐藤晋也(福井県大・海洋生物資源): 珪藻の生活史研究

西村芳樹(京大院・理): 葉緑体核様体のダイナミクス(仮題)
 羽生田岳昭(神戸大・内海域): 東日本大震災由来の漂着物に着生した海藻類の種及び遺伝的多様性について(仮題)

参加費: 300 円。談話会終了後、文学系 S 棟 1 階ラウンジで懇親会を行います(会費: 一般 4,000 円, 学生 2,000 円)。談話会および懇親会の参加希望者は 11 月 9 日(水)までに電子メールかファックスで下記の宛先へお申し込みください(当日参加も可)。

会場への交通: 近鉄奈良駅(1 番出口)から北へ歩き、正門より大学構内へお入りください(土曜日は南門閉鎖、徒歩約 10 分)。
 アクセスマップ <http://www.nara-wu.ac.jp/map/accessmap.html>
 キャンパスマップ <http://www.nara-wu.ac.jp/campus.html>

参加申込み・問い合わせ先

京都大学大学院人間・環境学研究科 幡野恭子
 〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

FAX: 075-753-2957 e-mail: sourui_danwakai@yahoo.co.jp